

第5期南幌町総合計画・後期基本計画（素案）

パブリック

パブリック・コメント意見募集結果

コメント

お問い合わせ：まちづくり課企画情報G

町ホームページ及び広報なんぼろ2月号等においてパブリック・コメント（町民等からの意見）を募集しました「第5期南幌町総合計画・後期基本計画（素案）」に対して、次のとおりご意見をいただきましたので、総合計画策定審議会及び町の考え方を公表します。なお、紙面の都合上、全文は掲載していませんのでご了承ください。詳しくは、町ホームページ及び情報コーナーでご覧いただけます。

【募集期間】平成26年1月31日～2月20日

【募集結果】意見件数 6件（応募者数 3名）

番号	意見等の内容	総合計画策定審議会・町の考え方
1	<p>●バス交通網の利便性向上について 総合計画に『通勤・通学・巡回バスなどの運行について検討し、地域公共交通総合連携計画に基づき、町内の公共交通空白地域の解消への取り組みや通勤・通学などの交通手段の充実に向けてバス事業者等に対し随時要望していきます。』とあるが、町民ニーズの把握、通勤通学バスの運行についての検討がされ、バス事業者等に対する要望、その結果等が分かりません。</p> <p>つきましては、町民の要望調査を行い、公共交通の課題解決のため、便数・運行コースなどを項目にした目標の設定が必要と思います。主に夕張太の住民としての意見ですが、南幌町から転出したい理由の上位3項目は、公共交通手段の充実が図られれば問題はある程度解消されると思います。また、商工業を始めとする産業振興にも貢献する手段だと思っています。</p>	<p>本町では、路線バス3社が運行しており、通勤・通学・通院・買い物などに利用されています。また、町内の公共交通空白地域への解消として巡回バスを運行し、高齢者等への通院・買い物など日常生活の足の確保を行っています。</p> <p>目標を明示した計画とありますが、公共交通については、少子高齢化や人口減少などから、年々利用者が減少傾向となっています。路線バスは採算性が取れる路線や利用者が多い時間帯に運行するなど、年々状況が厳しくなっており、現在の路線や便数を維持することが重要と考えていることから、目標については設定していません。</p> <p>今後とも、現在の地域公共交通の路線や便数の維持を目標に、バス事業者等に対して要望していきたいと考えております。</p>
2	<p>●「男女平等参画委員会」の設置について 他市町村の話を聞くとところによりますと、上記委員会を持っているところも多くあります。平等参画に関わる道の活動と直結するところが、本町にもあればと思います。「直結」ではないかも知れませんが、平等参画推進の機関が欲しいという思いです。</p>	<p>男女共同参画社会基本法に基づき、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思により社会の全ての分野で互いの人権を尊重し、責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮できる男女平等参画社会の取り組みが全国で行われ、道内では41市町村が男女平等参画・女性に関する計画を策定しています。</p> <p>本町は計画を策定していませんが、第5期総合計画の中で、女性の政策検討過程への参画機会の充実に努め、その目標達成に向けた取り組みを行うとしています。</p> <p>今後、男女平等参画推進上の課題などについて引き続き検討し、計画を策定する必要がある場合には、男女平等参画審議会などの設置が必要になると考えています。</p>
3	<p>●広報ほっかいどうの配布について 現在は新聞等に折り込みという形で各家庭に届くようになってきました。新聞の購読のないところへはどのように届けられているのでしょうか。公共の施設においてあるのはわかりませんが、町の広報と同様の扱いにすると、全戸に届くのではないのでしょうか。</p>	<p>広報紙「ほっかいどう」は、主要な道政課題や政策、道民生活に密着した生活情報などを掲載し、年6回、奇数月に発行されています。</p> <p>ご意見のとおり、配布は新聞折り込みであり、新聞を購読されていない方には公共施設に設置してあるものをご覧いただいております。</p> <p>町広報誌は現在各行政区・町内会の区長・会長をはじめ、班長の方などに毎月無償で配布をしていただいております。これ以上地域の方々に負担をかけないため、これまでどおり新聞折り込みと考えています。</p>

番号	意見等の内容	総合計画策定審議会・町の考え方
4	<p>●ふっ化物洗口の拡充について（反対意見） 健康の予防対策ということですが、年齢はともかく、ふっ化物の集団洗口自体に反対するものです。</p> <p>ふっ化物は、うがいにより多少なりとも体内に入り、悪影響を及ぼす危険性があるからです。また、学校での集団洗口となると、それに関わる職員の業務過多、あるいは結果責任にもかかわるのではないのでしょうか。薬物に頼らず、学校教育の範囲内での虫歯予防対策の強化で、住民の健康維持保全を図ることを希望します。ふっ化物はうがいということで、長い年月で結果が出ると思われま。希望の有無にかかわらず学校での集団洗口にふっ化物を使うのには断固反対です。</p>	<p>フッ化物洗口は、その有効性や安全性について世界保健機構（WHO）や国で認められているむし歯予防対策です。</p> <p>また、国や道では集団実施を推進しており、本町では、希望するお子さんを対象に平成23年度より幼稚園、保育園、平成24年度には、小学校、中学校で開始しています。</p> <p>なお、小中学校のフッ化物洗口の実施に当たっては、道教委より推進指定校の指定を受けフッ化物洗口普及事業に基づき、空知総合振興局の歯科医師、学校歯科医師による教職員、保護者の方々に説明会を実施し、有効性、安全性、緊急対応についてのご理解、ご了承を得て進めています。今後も、本町の幼児、児童、生徒たちをむし歯から守るために、関係機関のご理解、ご協力のもと、連携を図りながら取り組むこととしています。</p>
5	<p>●学童保育について 必要は理解しながらも、場所についていささか異論を持つものです。</p> <p>放課後、そのまま学校に残って…というのは実施する側には会場（施設）費等合理的な部分もあると思いますが、学校にとっては迷惑な話とっていました。子ども達も意識の切りかえはできず、学校教職員も何かと気になる存在でもあるのです。学校外での学童保育を実現させるよう希望します。</p>	<p>学校での学童保育の実施は、平成20年7月1日から行っています。これは、小学校での余裕教室が生じたことから、保護者へのアンケート調査で学校内での実施を希望する意見があったことを踏まえ、国の放課後児童ガイドラインでうたわれている学校との連携がより取りやすいこと、さらに教育委員会が実施する子ども教室事業との連携が図り易いこと等から、町・教育委員会・学校とで協議の上、学校内で実施することとしたものです。</p> <p>なお、子どもたちの意識の切り替えとしては、生徒玄関から一旦外に出て、別の玄関（学童保育用）から学童の教室に通う形となっており、それに対応できているものと考えています。</p> <p>また、学校の余裕教室や学校敷地内の専用施設を使っている割合が全国で50%を超えており、このことは、子どもの移動等に伴う時間や負担の軽減、さらには危険性の回避、他方では学校との情報交換等がタイムリーにできるなど、よりメリットが多いからと考えています。加えて、これまで学校内での学童保育の実施に対して、保護者の方や学校教職員からご意見がなかったため、引き続き学校内で学童保育を実施していく考えです。</p>
6	<p>●旧夕張太小学校廃校後の利用活用について 早急に結論を出す様要望致します。</p> <p>老健施設の誘致こそが最良だろうと考えられます。遅れる程条件が悪くなる事が地域として最悪です。</p> <p>夕張太地区においても人口高齢化が進んでいます。既に札幌市の施設にお世話になっている稲穂の方もおります。これだけの施設を長考のうえ、将来とも役立つ施設にするよう検討し、町民の希望の持てる結論が出されることを切望してやみません。</p>	<p>本町では、旧小学校2校の廃校に伴い、平成24年3月に「町立小学校跡利用検討方針」、平成25年5月に「町立小学校跡利用実施計画」を策定しています。この中で町民・中学生などを対象とした提案型のアンケート実施や地域座談会の開催、教育委員会や社会教育審議会などにも意見を伺っています。</p> <p>旧夕張太小学校の跡利用については、『民間事業者の活用』という方向性が決定したことから、これまでに2回の民間公募を実施し、1回目は土地・建物とも有償譲渡、2回目は建物を無償譲渡、土地は有償譲渡で募集しましたが、問合せは増えたものの応募はありませんでした。このことから、平成26年度は、条件または支援策を検討のうえ、改めて公募を実施する方向で検討しています。</p> <p>なお、ご提案の件も含め、地域や町として望ましい民間事業者をと考えており、基本的に「農業など産業振興や地域の活性化につながる民間施設」を対象としていることから、幅広く応募いただけるよう努力していきます。</p>